

## 東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

### 紫雲丸事故

#### ～三十の みたま来ませ～

昭和30年5月11日早朝、濃霧の高松港沖で、国鉄・宇高連絡船の沈没事故が起きました。いわゆる「紫雲丸事故」です。犠牲者168人中108人が修学旅行中の児童生徒や教員・保護者で、その中には三芳町立庄内小



▲菅さん作成の紙芝居

学校（現西条市立）の6年生29人とPTA会長が含まれていました。

庄内小学校には遺族と地元有志の手で慰霊碑「みたまの塔」が建てられ、毎年5月11日には

「いのちを考える集会」が開かれています。亡くなったPTA会長の妹である菅艶子さんは、事故を後世に伝えるため紙芝居「三十のみたま来ませ」を制作。庄内公民館などで保管しています。50回忌の平成16年には、事故の生存者である庄内小学校卒業生有志が追悼録「いで立ちしまゝ」を作成。現在、有志作成のホームページに掲載されています。河北会館では今年、事故の概要を教材としてまとめ、地域の小中学校を対象に命の尊さを学ぶ研修に取り組む予定です。

この事故は国鉄の第4代総裁に十河信二氏を迎えるきっかけとなり、また、本四架橋実現の遠因になったともいわれています。しかし、楽しみに胸躍らせていた修学旅行中に突然失われた若い命、そのことを私たちは忘れてはなりません。

## 丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

### ふるさとの味、おいしい柿で健康に!!

西条市生活研究協議会丹原支部が、食の安心・安全を第一に厳選した商品をお届けしているふるさと小包「土のめぐみ」夏便も、今回で18回目を迎えます。

ご好評いただいている数々の商品の中でも、「柿の葉茶」「柿ようかん」には、地元産の愛宕柿あだごが使用されています。愛宕柿は大正2年ごろ、田野村長野（現丹原町長野）で、良系統を正月用の柿として販売し、広く丹原地区で栽培されたとされています。当地域の樹園地は、緩やかな南受けの斜面で、昼夜の気温差があり水はけが良いという好条件に恵まれ、できた柿は味や食感などにおいて高い評価を受けています。

そんな柿には栄養が豊富に含まれています。「柿が

赤くなれば、医者が青くなる」といわれるほど栄養価が高く、健康食品として注目されています。カリウムは塩分を排出する役割があり、高血圧の予防に効果があります。また、ビタミンCを多く含み、柿1個で1日の必要量をほぼまかなえるともいわれ、疲労回復、風邪の予防、老化防止の効果があります。

「土のめぐみ」夏便はふるさとを思い、懐かしむ方への贈り物としても最適です。今年も、柿の恵みを添えてお届けします。申し込みの詳細は情報最前線（16ページ）をご覧ください。



▲今年もお楽しみに

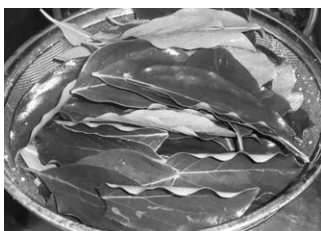
## 小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

### 柿の葉茶はビタミンがたっぷり!!

皆さん、柿の葉茶をご存じですか？

柿の葉茶は、美容や健康のために良いと、非常に評判の高い健康茶です。カフェインが含まれておらず、高血圧や動脈硬化、脳梗塞の予防などに効果があるとされているタンニンが豊富に含まれています。柿の葉



▲採取された柿の葉

にはミネラルやビタミンも豊富に含まれています。特にビタミンCは、緑茶の約20倍、みかんの約30倍、レモンの10～20倍あり、熱で壊れにくいとされています。味は苦いと

思われがちですが、サッパリとした味わいで飲みやすく、子どもたちにも人気があります。

小松地区では、西条市生活研究協議会小松支部に所属する「かれんグループ」が、試行錯誤を重ねたこだわりの製法の柿の葉茶を市内直販所で販売しています。無農薬で安全な葉を、ビタミンが多く含まれる時期に採取し、手作業で生産しています。大量生産ができないため数に限りがありますが、ご覧になる機会があればぜひお試しください。

